

操作員講習会が開催されました

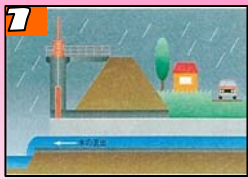


操作員の方々、ご苦労様でした!!

11月20日、大石田町福祉会館において大石田出張所管内の樋管操作員の講習会が行われました。
業務内容や樋管の点検設備の説明、保健師さんによる講話、水防に関するビデオ上映等が行われました。
操作員の方からも貴重な意見を頂きました。

樋管操作員の仕事とは???

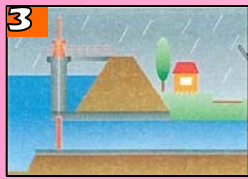
『排水樋管』は、普段はゲートを開けた状態で沢水や農業排水など排水するようにしていますが大雨による洪水時にはゲートを閉め、川からの水の流入を防ぎます。その樋管の操作をしているのが樋管操作員の方々です。
大石田出張所管内では50名の操作員の方々、家や田畑・道路などを洪水から守るために活躍されています。



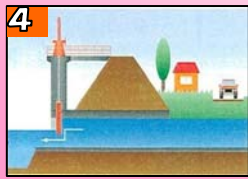
1 ◎雨が降ると大量の水が川に流れ込むため、川の水が上がってきます。



2 ◎川の水の高さが住宅地や田畑のある方と同じ高さになったら、水が反対に流れ出さないようにゲートを閉めます。



3 ◎どんどん川の水は上がっていきます。この間も30分ごとに川の水の高さの観測をしています。



4 ◎水位が下がったらゲートを開け、水路の水があふれないように川の方へ水を流してやります。



毎月、樋管点検を行っています。



伐採木提供

☆たくさんのお問い合わせありがとうございました☆

11月上旬より開始していた伐採木の無料提供受付が完了いたしました!!

59名の方々からお問い合わせがあり、計約40トンの伐採木を配布する事ができました。

ご協力ありがとうございました(^o^)

油流出に注意しましょう!!

寒い日が続き、ヒーターなどの暖房器具が欠かせない季節になりました。それに伴い油の流出事故も増えてきます。事故を防ぐためにもホームタンクの使用の際は、その場から絶対に離れない、除雪時の配管破損を防ぐためにホームタンクの雪囲いや目印を立てるなど、事故防止を心がけましょう!!

万が一、事故を起こした場合(側溝などに流出)または発見した場合は大事に至らないためにも至急お近くの市町村役場、山形県村山総合支庁、国土交通省の事務所・出張所、消防署、警察署などへご連絡下さい。

～新しい工事の紹介です～



◎最上川中流岩ヶ袋地区取水施設設置工事

工期:H20・9・9～H21・2・27 施工:(株)新庄砕石工業所

☆流雪溝に流す水を丹生川からくみ上げるためのポンプ施設を作っています。



岩ヶ袋地区
取水施設設置
の工事の様子

◎最上川中流横山地区操作室新築工事

工期:H20・9・11～H21・2・20 施工:丸伸・本間経常建設共同企業体

☆流雪溝に安全かつ適量に水を送るためのポンプ操作を行う施設を作っています。



横山地区
操作室の工事
の様子

◎最上川中流岩ヶ袋地区導水施設設置工事

工期:H20・11・8～H21・3・13 施工:(株)名木沢土木

☆丹生川のポンプ施設から流雪溝へ流す水の配管工事を行っています。

地域の皆様には、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

～川の散歩道～ 【奥の細道の頃 その二】

梅雨末期としては珍しい梅雨の晴れ間の山寺詣でとなった芭蕉・曾良の一行は宿坊に一泊した翌7月14日(陰暦元禄二年五月二十八日)、山寺を後に次の滞在地である大石田に向かいます。羽州街道を北上し、途中今宿で出迎えを受け大石田の俳人高野一栄宅に着きます。一栄宅が川のほとりにあったので「さみだれをあつめて涼し最上川」の句を詠んでいます。「奥の細道」では「最上川のらんと、大石田と云う所に日和を待つ」とあり、最上川を舟で下るため晴天を待つことになり、梅雨空が続き続きます。

大石田に3泊した後、今度は陸路新庄に向かいます。そろそろ梅雨明けが近いことを感じ取っていたのではと思われれます。本州に停滞していた梅雨前線はしだいに弱まり消滅して梅雨が明けるパターンか太平洋高気圧の勢力が強まり前線を押し上げるパターンのいずれかとは思いますが…。梅雨が明けます。新庄の渋谷甚兵衛宅に二泊し7月19日(陰暦6月3日)に本合海に出て、舟で最上川を下ります。晴天とはいえ、このとき梅雨のなごりで最上川は増水し「水みなぎって舟あやし」をうけ「さみだれをあつめて早し最上川」に改まります。

芭蕉・曾良の一行は、清川で舟をおりその足で羽黒山、月山、湯殿山に行き鶴岡には7月26日着き3泊して酒田には川船に乗って7月29日(陰暦6月13日)に着いています。梅雨が明けてから十日ほど真夏の太陽が容赦なく照りつけ「暑き日を海に入れたり最上川」を詠んでいます。その暑さを実感する一句です。

以上でこの拙い一文はおわりです。芭蕉が県内をめぐった頃の季節や天気について参考にした文献などからひろい、中には勝手に想像をふくらまして書いて見ました。「なあ～んだ」と思われたかも知れませんが、ご容赦願います。ご意見などいただければ大変幸せです。

ところで、最後に余談を一つ。当時の江戸時代は元禄小氷期といわれた寒い時代で、今の東京や静岡など東海地方でも冬は雪が降り東海道五十三次の浮世絵などでも雪景色があったり、着物の柄に雪の結晶が人気だった等今より相当寒く雪が多かったようです。それでも夏は、そこそこ暑かったようです。

渡部 記



ご意見・ご感想など
ありましたら、お気
軽にご連絡下さい

国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所 大石田出張所

〒999-4113 北村山郡大石田町大字今宿字鷺の原466-2
TEL0237-35-2024 FAX0237-35-2354